

■地域及び公共交通の現状と課題



基本方針

爽やかなまち もりまちをみんなで 創り続けるための公共交通網の構築

方向性① 町民主導で考える利便性の高い町内公共交通網の構築

- 地域の資源を活用した新たな公共交通の実証運行事業の実施
- 町内施設や各地域の拠点までの移動利便性の向上
- 町民ニーズに即した町内バス路線の見直し
- JRや他公共交通との乗り継ぎを考慮

- 施策①：生活圏となっている町内施設や各地域の拠点までのアクセスを向上させる交通の導入
 施策②：本町市街地における主要施設を結ぶ交通の導入
 施策③：移動における町民ニーズに即した町内バス路線の見直し

方向性② 町民の広域的な移動を確保する町内交通と広域交通の連携

- 乗り継ぎを考慮した町内交通との接続
- 施策④：北海道新幹線駅への接続強化

方向性③ 町民とともに公共交通を考える機会の創出

- 定期的に公共交通の利用状況やニーズ等の意見出しを行う機会の創出
 - 町内公共交通情報の配信
 - 現状のサービス水準の維持・継続
- 施策⑥：公共交通利用者が積極的に公共交通への意見出しを行う利用者会議の開催
 施策⑦：公共交通への関心の向上を目的とした定期的な情報配信
 施策⑧：外出支援サービス事業の実施

方向性④ 持続的な公共交通の確保・維持に向けた体制の強化

- 施策⑨：森町地域公共交通会議の機能強化

■公共交通に関する各種調査結果から見えるニーズと課題

